

人口減少地域における地域・社会資本等のマネジメントに関する研究会
(第2回)

議事要旨

人口減少・高齢化が著しい地区の住民の居住地選好調査について

(瀬戸口准教授)

- ・高齢者単身世帯等により世帯分類別に分析しているが、実質的には、その分類では大きな差は出ないのではないか。世帯分類別だけではなく、地区特性により分類して分析することも大事ではないか。

(事務局)

- ・地区を分類するための指標に留意しながら地区特性により分析することを検討する。

(高野准教授)

- ・報告書案内のモデルに関する記述にある転居発生確率という表現について、必ずしもアンケート原票の表現と一致しておらず、表現の修正が必要だと思われる。

(事務局)

- ・報告書の中での表現に配慮する。

地域再編による再編効果の検討について

(高野准教授)

- ・コーホート推計による世帯人員の将来推計は、地域再編後の公的住宅の戸数推計などに反映させているか。

(事務局)

- ・世帯人員の将来推計は地域再編後の公的住宅の戸数推計に反映させている。

(高野准教授)

- ・将来の人口の減少、地域再編後の市街地面積、住宅・社会資本のコストに関する検討は出たが、もうひとつ大事な税収の変化は推計できるか。

(事務局)

- ・税収の推計は、人口だけではなく、交付金等では、行政面積、社会資本の規模など、多くの指標に左右されるため、推計は簡単ではない。人口等との比較を検討する。

(高野准教授)

- ・地域再編等、新たな概念を提示する議論であるため、言葉の定義及び一貫性に留意されたい。

(事務局)

- ・言葉の定義及び一貫性に配慮する。

地域再編に関する制度・事業及び地域再編の段階について

(瀬戸口准教授)

- ・各社会資本全てが一度に縮減する訳ではないので、いくつかの項目を優先的に縮減させる場合の効果なども検討してはどうか。

(事務局)

- ・報告書内の記述について検討を行う。

(瀬戸口准教授)

- ・自治体が縮減を進める条件や支える制度などはどうあるべきかが重要だ。
- ・何からスタートさせ、どのようなプログラムで進めるかも重要だ。